

Project

地域プロジェクト（2019 前期～2019 後期）

C-57

地域協働専攻  
地域環境科学グループ

## 地域における音環境の調査と提案

【メンバー】 [学 生] 大高 立旗/嶋田 隼太郎/覚幸千晶  
[担当教員] 今野 英明

### 【背景】

函館市は有名な観光都市であるが、近年人口減少という問題を抱えている。その要因の一つとして若者が進学や就職で地元を離れてしまうといったことがあげられる。一方で、函館市のハリストス正教会の鐘の音が環境省の残したい「日本の音風景 100 選」に選ばれたことを知り、函館市と音は深い関係があるのではないかと考えた。そこで本プロジェクトのテーマである音に焦点を合わせ、函館市の魅力を音で発信することによって人口減少の問題に寄与していこうと考えた。

### 【目的】

函館市の魅力を音という観点から発信する活動を通して函館を離れた人達に将来的に短い期間でも函館に帰ってきたいと思ってもらう。

### 【概要】

函館の音をマップに載せた「SoundMap」を作成し、Web サイトに掲載することでどのような音がどこで聴けるのかを手軽に調べられるようにした。また、広報活動の一環としてパンフレットを作成し函館市内各施設に配布した。

### 【プロセスと成果】

今年度は昨年度の活動をベースにして行った。昨年度と比較して、収録範囲を湯の川地区まで広げたり、函館で開催されるイベントの収録を増やしたりした。

前期では主に観光資源となる音を収録するロケ活動を行い、後期では幅広い年代を対象に音収録場所に関するアンケートを学校祭で行った。加えて Web サイトの制作やパンフレットの制作といった広報活動も行った。ロケ活動の際には学校から貸し出しされているビデオカメラ (SONY FDR-AX45) やスマートフォン、レコーダー (TASCAM DR-701D) を使用して収録活動を行った。収録した音声は WaveSurfer というソフトを使用して音量などの調節をして、収録した動画や画像は Windows のフォトアプリを使用して編集をした。収録した場所は函館駅、函館山ロープウェイ、競馬場、植物園、立待岬、五稜郭の桜、クリスマスファンタジーの計 7 か所である。



<収録の様子の写真>



◎ Sound Mapとは  
「Sound Map (サウンドマップ)」とは、皆さんに函館の魅力を知っていただくために函館特有の音を収録し、収録した場所を地図上に表して分かりやすくしたものです。是非、このマップを持って函館に足を運ぶと、音が再現してきてくれます。QRコードURLからWebサイトにアクセスすると実際に音を聞くことができます。

<Web サイト PC 画面>



<スマートフォン画面>

<http://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/soundmap/>

**【総括と反省・今後の課題】**

私たちの一年間の活動は、収録地の拡大、SoundMap やパンフレットの作成、Instagram を利用した広報活動、地域の方々へのアンケートの実施である。

総括としては Web サイト制作の際には昨年の地域プロジェクトで作成した Web サイトを踏襲して作成する形となった。Web サイトプラットフォームである Wix を用いて作成を行った。PC よりもスマートフォンでのアクセスが多いだろうと予測し、特にスマートフォン版のサイトには力をいれた。

パンフレット作成では観光地の数が多くて全体的に SoundMap が見つらなくなるようなことを避けるためにアイコンの配置には気を付けた。特に西部地区には観光地が固まってしまうため、見やすく出来るように工夫した。また、パンフレットは 200 部程度、赤レンガ倉庫をはじめとする観光地やまちづくりセンターなどの公共施設に配布した。2 月 26 日時点では 82 部持ち帰りという結果になった。

反省点は Sound Map とパンフレットの作成が遅れてしまったことである。完成したのが 1 月中旬だったため、2 月の発表会までの期間が短くなり広報活動が思うように進められなかったことが挙げられた。なお、発表会が終わってから 2 月 26 日現在では持ち帰り部数が 82 部と大きく増加した。

本プロジェクトの今後の課題としては、Instagram を利用した広報活動に関して、フォロワーが思うように伸びなくて地域の方々目に留まる機会が少ないと感じたため、もっとフォロワーを増やして地域の方々に広く知ってもらう必要があると感じた。また、音収録をする際に雑音が入り込んで、聞きたい音が聞き取りにくいことが多くあった。そのため、指向性の良いマイクなどを使用して音質を向上させる必要があると感じた。

パンフレット



【表面】



【裏面】

**【地域からの評価】**

発表会に参加して下さった方からの反響としては、「この活動を函館から出て行った人に伝えて、パンフレットをお土産として持っていきたい。」や「音という観点で魅力を見出すことはとても面白い。」など前向きなコメントを頂いた。

その一方で、「ゴミ収集車の音楽は函館特有の音なのでぜひ取り入れてもらいたかった。」という音収録場所に関する意見も頂いた。

**【その他】**

年間スケジュール

前期	4月	「方針決定」
	5・6月	「音収録」
	7月	「中間発表」
後期	10・11月	「アンケート作成」
	12月	「Web ページ作成」
	1月	「パンフレット作成」
	2月	「最終発表」

## &lt;謝辞&gt;

本プロジェクトのパンフレット設置などの広報活動を快く承諾して下さった函館市内 各施設の皆様、アンケート回答にご協力していただいた方々に感謝申し上げます。